

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」 静岡本部校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・利用される子どもたちが常に落ち着く空間を意識し、環境をセッティングしている。	
	②	職員の配置数は適切である	6			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・お子様が見ても分かるようなチラシでイベントのお知らせをしたり、トイレはバリアフリー化されている。 ・電話・Line・メール等、複数の伝達手段がある。	・玄関前の階段は滑りやすい為、手すりがあると良い。 (⇒今後、実情を図り、滑り止めやその他必要な設備を検討して、転倒防止に努めます。)
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	・感染対策の手洗いなど、洗い方をイラストで確認できるようにしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	・朝礼時に気になる様子を共有するようにしている。 ・モニタリング・個別支援計画を全員で共有している。	・記録の書き方に差がある為、PDCAの「C…評価」と「A…改善」が弱くなり、次の「P…計画」が浅くなる。(⇒今後は、評価・改善の場を全体で振り返るよう働きかけて、よりよい計画を立てていきます。)
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・昨年度以上に、ご家庭から寄せられる声に耳を傾け、サービス担当者会議等を頻繁に行いながら、安心できる子育て支援を図っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		・公開はHP・掲示で行うも、会報という形では行っていない。また、目安箱のような意見を汲み取る箱の設置が無い。相談のみの聞き取りで質の改善を行っているため、その辺を改善を図りたい。(⇒今後、直接伝えづらい意見をいただくため、目安箱を設置する予定です。)
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	・ご指摘、ご意見を参考に動いている。	・第三者の外部評価の設置が定まっていない。今後、その辺りの見直しを図る必要在り(⇒外部評価委員に関しては、今後上層部に確認し対応に当たります。)
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・各委員会及びケース MTG 等の研修機会がある。	・この部分に関しては、機会はあるものの、参加する者とそうでない者の差が激しい。(⇒今後は質の向上を図る為に、積極的な参加呼びかけを行っていきます。)
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・半年に一回のモニタリングや事業所内相談支援により、ニーズの把握に努めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・NC プログラム、太田ステージの内容を基に行っている。幼児さんにお	

の 提 供					いては3カ月に1のペースで取り入れている。 ・4月にアセスメントの回答をいただいている。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・支援計画には、左記の支援項目を適宜にチョイスして適切に記載するよう取り計らっている。内容も時として具体例も用いながら記載している。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	・必ずしもチームとして行えてはいないが、伝言という形で立案は図っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・様々な事に興味を持つ事を考えて、興味を持ってもらえそうな活動を取り入れている。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	・月1回の集団イベントを開催している。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・朝礼等で行っているが、時折視点、見解 [児の問題、それに沿った役割調整] にばらつきが起き、決定に時間を掛ける事やあいまいな決定で事を進む日もあった。(⇒今後、話し合いがこじれる際は、話し合う部分を定めるよう図ります。)	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・朝礼に前日利用児の共有を行い、気づきや疑問点を話し合っている。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・半年に1回以上のモニタリングを実施している。		
	関 係 機 関 や 保 護 者 と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5		・現状、利用児がない。(⇒今後、そのようなケースも考えられるので、研修等で学びを深めていきます。)	

の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		・上記同様。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・年長の利用児の情報共有として、保育園やこども園と連携を図っている。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・(⇒支援センターとの連携は、現状はありませんので、今後あいさつ回りから検討したいと考えています。)
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	・職員が園や施設に見学に行く機会あり。	・本施設は通所型の施設の為、利用する児が左記のような園に通いつつ、時間を設けながら本施設に通所する形になっている。その為、必ずしも左記の連携が必要かは判断しかねる。(⇒今後、検討対象となれば、如何にして連携できるかを、各施設から聞いていきたいです。)
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		・未だ協議会の実態を掴めていないので、参加を保留している。(⇒後は情報共有の為に、参画に加わる方向でいきます。)
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・毎回フィードバックの時間を取り、支援時の様子を伝えと共に、普段のお子さんの様子を聞くようにしている。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	・ペアレントという形では行っていないが、その一部を手法として分離し、提示はしている。	・今後はペアレントトレーニングの研修に参加し、支援を行ってきたい。(⇒後は率先して研修参加に促しつつ、児発管が持ち得るペアレント技術を伝えながら、支援に活用できるよう図っていきます。)
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に説明する一方で、規定を玄関前に置く等、すぐ目に入るよう工夫している。加え、説明の依頼を受けた際は適宜に対応している。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・事業所内相談支援を通して、助言や支援を行っている。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	・集団イベントでは保護者会の同時間開催を行った。	・明確な保護者会の設立は無い。但し、イベントを介して、自発管が取り持つ形で

						の保護者連携は図っている。(⇒今後も適宜に行いたいと思います。)
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				・体制の整備は概ね確立している。また、相談等ある際は、迅速を心掛け、極力待たせないよう図っている。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1			・LINE、ブログで活動内容の周知に努めている。
	個人情報の取扱いに十分注意している	6				・一部の内容にはバックアップを取る一方で、名前が記載されたものは必要時以外は常に伏せるよう努めている。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				・疎通に円滑さを欠く際は、その方が利用している相談支援事業所や保健師を通じ会話の確立を図るよう心掛けている。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6			・地域の消防署とは消火訓練を介して、連携をしたが、住民とは未だ接点が薄い。(⇒今後、何らかしらの確立が模索できる際は、構築を考えていきます。)
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2			・マニュアルはあるが、保護者への周知は十分とは言えない。(⇒今後、親御さんを必要とする訓練時に、マニュアルの周知を取り付けていきたいと思います。)
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				・月1回、火災や水害など違うテーマのものを想定し訓練を行っている。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1			・基本情報を参考にさせて頂いている。また、変更した際は、報告として上げ、記載もし直している。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3			・食を介した対応をしていない為、アセスメントの理解で終始している。(⇒今後、必要を欲するケースが発生し次第、コピーを貰い受けるよう努め、周知補完していきます。)
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				・細かくチェックし、記録も残すよう行っている。また、ヒヤリハットを議題にしながら、より良い改善も図っている。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1			・虐待防止委員会の設置及び、委員会の中で話し合った内容を職員で共有している。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1			・身体拘束に成り得るケースが圧倒的に少ない為、「説明」が適宜に行えていないケースもある。(⇒後は、ケースの様子関係なく、身体拘束を行う事の不義を正しく説明した上で、計画に明記していきます。)

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「あいあい」静岡本校 保護者等数（児童数）：12名 回収数：12件 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3	1		・教室をもっと広くしてほしい。	・周囲にある余分なものを無くしたり、居室を変更したりしながら対応に当たります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2		1	・以前は職員の異動が多かったが、今は落ち着いているので安心している。	・左記のご意見を頂き、今後も同様な形で支援が運営できるよう粉骨の対応をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	7		1	・バリアフリー化はされていない。	・今後、本部との確認の上、必要と判断され次第、対応をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	4			・夏の授業の時、冷房が無いのが辛そうだった。言っていないのか分からなかった。	・今後、気温等の環境含め、再度利用されるお子様が快適な環境で行えるよう常に確認をしていきます。加え、意見が適宜に発信できるように目安箱の設置も進めていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	2				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	4				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	2	4		
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	3		1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1			・希望すればやってくる。	・今後、予定を作成しながら、希望を受けつつ進めていくように取り図っていきます。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	5	1	3	・以前の方が明確な時間が訓練の後に用意されていたが、娘は待つのが好きじゃないので相談があればこちらからお願いしようかなと思っています。	・相談を希望される際は、その都度適宜に対応する一方で、急な相談につきでお子様がいる際は、お子様に負担が掛からない時間内で相談に当たるよう心掛けていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	3			・自分から希望すれば行われる。	・今後は希望に限らず、定期的に面談を希望される方は、その要望に沿って行っていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	6				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	6	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	3		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	4		2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	1				
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	3	2	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	2	2		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	2				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。